平成27年度　決算特別委員会

平成27年度の主要な施策・事業

・元気な地域づくり交付金事業
・地域おこし協力隊員の採用
・七ヶ宿町古民家改修工事
・ふるさと創生総合戦略プラン作成
・世代間交流住宅、地域担い手づくり支援住宅建設
・農林施設、土木施設の災害復旧事業

決算の概要

・経常収支比率74．2％（前年72％）
・公債費比率1．7％（前年1．8％）
・実質公債費比率4．4％（前年4．8％）

歳入決算（一般会計）

・調定額27億4493万4277円
・収入済額26億6263万7609円
（収入割合97．0％）

歳出決算（一般会計）

・支出済総額25億5097万1043円

滞納状況（町税、保険税、貸付金等）

・滞納総額2592万9489円
（前年28万807円の増）
※滞納額は全会計の総額です。

経常収支比率とは
数値が高いほど団体の財政力が高いことを示す。

公債費比率とは
数値が低いほど借金が少ないことを示す。

実質公債費比率とは
得た収入から借金返済に回した額の割合を示す。

原子力発電所事故賠償金関連の質疑

問　放射能被害によりいまだにほぼ木等が全く使えない状況だということを東電にしっかりと伝えていかなければならないと思うが、町としてどのような対応をしているのか。

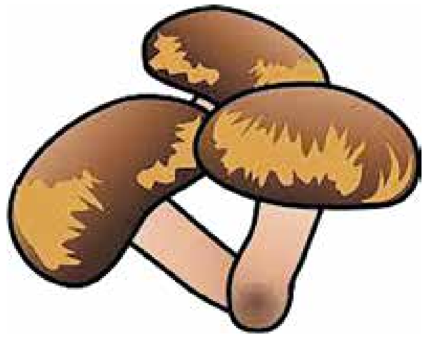
答　民間の分についてはそれぞれ損害賠償が行われている。ただ町としてもまだ請求していない部分はあるのでこれから交渉していきたい。

答　シイタケについては25年度から原木に対しての補償、売り上げに対する補償を各自行っている。現在、中身については県が中心に除染や検査を行っており、そちらで今後話を続けていきたい。なお、今年度から原木シイタケに対しても個人個人ではあるが解除になっていく予定である。

問　汚染牧草の一時保管に1669万円の損害賠償を受けているが、この後も保管は継続されると思う。その後これに対する賠償金はあるのか。また、保管業務は今後どのような推移をたどろうとしているのか。

答　1669万円については汚染牧草を保管場所に集めたときに行った事業への補償金である。今後については現在ある汚染牧草等について放射能を検査し、県のほうで11月ごろには何かしらの発表があるとのことなので、それを受けてから対応していきたい。

問　一時保管について地域の方とは年数を決めて約束していたはずだが、その辺の話し合いや納得は得られているのか。

答　平成25年4月に地区説明会を行い、おおむね3年ということでご承諾を得た。平成28年度で3年を過ぎるので、本年の4月に再び説明会を行いご承諾いただいている。

▲一時保管場所